

RETAILER ACADEMY NEWS

Nov 2021 | Bentley Motors Japan



ベンテイガ ハイブリッド 日本導入を正式発表

ベントレー モーターズ ジャパンは11月2日、都内でベンテイガ ハイブリッドのプレス発表会を開催しました。新モデルのプレス発表会を開催するのは2019年末のフライングスパー以来でしたが、多くのプレス関係者の皆様にお越しいただきました。また、新型コロナウイルスの感染対策として発表会は2回に分けて実施。会場内も密を避けるような座席配置とし、車両に触れる場合には使い捨ての手袋を着用していただくなど、万全を期して臨みました。

発表会の冒頭では、ベントレーの102年の歩みを紹介する動画をご覧いただいた後、ベントレー モーターズのエイドリアン・ホールマーク会長兼CEOのビデオメッセージを再生。Beyond 100戦略に基づいた電動化のロードマップについて触れつつ、日本市場への期待を語りました。日本で開催する新モデルの発表会で、クルー本社のCEOがメッセージを寄せるのは初めてのことで、その点から見ても日本市場への期待が高いことがうかがわれました。さらに、アジアパシフィックのリージョナルマネージャーのニコ・クールマンもビデオメッセージを寄せ、2021年の実績における日本市場の貢献度の高さと重要性について重ねて強調しました。続いてベントレー モーターズ ジャパン代

表の牛尾裕幸が、日本のプレスの皆様への感謝とともに、2021年の日本での販売台数が過去最高を記録する見通しであることなどについて話しました。

その後、Beyond 100については、4つの柱についてそれぞれ説明。商品説明では、ベンテイガ ハイブリッドの性能や想定する顧客像などについても解説しました。アンヴェールしてフォトセッションが終わってからは、プレスの皆様に自由にベンテイガ ハイブリッドをご覧いただきました。プラグインハイブリッドといっても、ベントレーのクラフトマンシップを感じられる内外装に対するポジティブな声が多く聞かれました。

発表会の会場には、ワキミュージアムにご協力をいただき、1921年製のEXP2も展示。この車両はベントレーが初めて製造し、わずか19台のみが世に送り出されたうちの1台です。そのちょうど100年後の今年、日本で最新のPHEVが発表されたことを記念しての展示でしたが、その対比もお楽しみいただけました。

販売店の皆様におかれましては、4月にご提供した商品概要や、10月にお送りしたリテラー アカデミーニュースのベンテイガ ハイブリッド特別編をご覧いただき、あらためて商品やマーケティングにつ

いてご確認ください。ベントレーが新たな時代に踏み出す大切な1歩目となるベンテイガ ハイブリッド。リテラーの皆様のご協力を得て、このモデルの導入をぜひとも成功させたいと考えています。



COMPETITOR INFORMATION



ラグジュアリー SUVのパイオニアが第5世代に進化 新型レンジローバー

ランドローバーは、5世代目となる新型レンジローバーを2021年10月26日に世界初公開。

ジャガー・ランドローバー・ジャパンでは、日本向けの先行販売モデルとなる特別仕様車の受注を開始しています。

SUMMARY

- 内燃機関/PHEV/BEVのそれぞれに対応するランドローバーの最新アーキテクチャー「MLA-Flex」を採用した初のモデル
- スペシャル・ビークル・オペレーション(SVO)により手作業で作られる最高峰モデル「レンジローバーSV」が2022年に登場
- ランドローバー史上初となる電気自動車(BEV)を2024年にラインアップ予定
- 日本では特別仕様車「LAUNCH EDITION」を先行販売モデルとして70台限定で導入。12月19日までの期間限定で受注開始
- 日本向けの特別仕様車「LAUNCH EDITION」は、初年度のみ生産される「FIRST EDITION」をベース車両に採用。530psを発揮する4.4L V8ツインターボエンジンを搭載。スタンダードホイールベースは4色・計55台、ロングホイールベースは2色・計15台を用意



INTERIOR

- レンジローバー初となる7人乗りをロングホイールベース仕様に設定
- 標準ボディは5人乗り。ロングホイールベース仕様は4人乗り/5人乗り/7人乗りから選択可能
- ヘッドレストに内蔵したスピーカーからノイズを打ち消すシグナルを再生させるアクティブノイズキャンセリング技術を搭載
- 車内の空気の質を向上させるデュアル「ナノイー™X」テクノロジーを搭載した「空気清浄システムプロ」を採用
- レザーを使わないサステナブルなインテリアオプションとして、ウール混紡の「Kvadrat™ プレミアムテキスタイル」を設定



EXTERIOR

- ショートオーバーハングと直立したフロントガラス、テーパー形状でボートテールのようなリアなど、歴代モデルのDNAを踏襲したデザイン
- 最新技術を駆使して、ひとつの塊を削りだしたような凹凸のないサーフェイスを実現
- 点灯するまで存在に気づかない特徴的なデザインのリアランプを採用
- ボディタイプはスタンダードホイールベース(SWB)とロングホイールベース(LWB)の2種類を設定
- ランドローバー初設定となる23インチアロイホイールを設定



TECHNOLOGY

- 当初のパワートレインは、300psを発揮するマイルドハイブリッドの3.0L 6気筒エンジンと、530psを発揮する4.4L V8ツインターボエンジン
- PHEVの最高出力は510psと440ps。CO2排出量は30g/km未満で、実航続距離は最大80km
- レンジローバーならではの走破能力と穏やかな乗り心地を実現するインテグレートッドシャシーコントロール(ICC)を採用
- 高速走行時の安定性とランドローバー史上最少の回転半径を実現する「オールホイール・ステアリング」を採用
- 落ち着きのある乗り心地と敏捷性の高さを両立させるダイナミックレスポンスプロ付の電子制御エアサスペンションを採用



PRICE

スタンダードホイールベース

レンジローバー SE:	16,370,000 円(税込)
レンジローバー HSE:	17,520,000 円(税込)
レンジローバー AUTOBIOGRAPHY:	19,720,000 円(税込)
レンジローバー FIRST EDITION:	22,400,000 円(税込)
レンジローバー LAUNCH EDITION:	23,107,000 円/23,546,000 円/24,511,000 円(税込)

ロングホイールベース

レンジローバー SE:	18,700,000 円(税込)
レンジローバー HSE:	19,850,000 円(税込)
レンジローバー AUTOBIOGRAPHY:	21,950,000 円(税込)
レンジローバー FIRST EDITION:	22,720,000 円(税込)
レンジローバー LAUNCH EDITION:	24,068,000 円/25,033,000 円(税込)

COMPETITOR INFORMATION

ニューモデル 発表：2021年10月14日 / デリバリー：未定

フェラーリ 296 GTB



- ・新設計となるシリンダーバンク角120°の3.0L V6ターボエンジンにPHEVを組み合わせた新世代ミッドシップ2シーターモデル
- ・エンジン単体で663psを発揮。システム合計出力は830ps、最大トルクは740Nm
- ・0-100km/h加速2.9秒。最高速度330km/h以上。電気モーターのみで約25kmの走行が可能

車両価格 (税込)	フェラーリ 296 GTB：	36,780,000円
--------------	----------------	-------------

特別仕様車 受注開始：2021年11月9日 / デリバリー：未定

ポルシェ パナメーラプラチナエディション



- ・エクステリアでは21インチホイールとエンブレム、エアアウトレットトリムへのプラチナ塗装、ブラックのスポーツテールパイプとサイドウインドウトリム、エクスクルーシブデザイン テールライトなどを装備
- ・インテリアではブラックのブラッシュアルミニウム インテリアパッケージ、アナログ時計などを装備

車両価格 (税込)	パナメーラプラチナエディション：	14,250,000円
	パナメーラ4プラチナエディション：	14,700,000円
	パナメーラ4E-ハイブリッドプラチナエディション：	16,920,000円

一部改良 発売：2021年11月2日 / デリバリー：未定

マセラティ レヴァンテ MY22モデル



- ・エンブレムロゴを刷新
- ・2.0L 4気筒エンジンに48Vハイブリッドシステムを組み合わせたレヴァンテ ハイブリッドを新規導入
- ・エンジンは、GTが330psの4気筒ハイブリッド、モデナが350psのV6、トロフェオが580psのV8ツインターボを搭載

車両価格 (税込)	レヴァンテ GT：	11,340,000円
	レヴァンテ モデナ：	13,140,000円
	レヴァンテ モデナ S：	15,580,000円
	レヴァンテ トロフェオ：	21,280,000円

一部改良 発売：2021年10月28日 / デリバリー：未定

レクサスLS



- ・標準装備の19インチタイヤをランフラットタイヤから新開発のノーマルタイヤに変更し、乗り心地と静粛性を向上
- ・レーンレーシングアシスト [LTA] のセントार्टレース性能を向上
- ・高度運転支援技術Lexus Teammate [Advanced Drive] の性能を向上。既納客へのアップデートも提供

車両価格 (税込)	LS500：	10,710,000円～ 15,780,000円
	LS500h：	12,220,000円～ 17,920,000円

一部改良 発売：2021年11月2日 / デリバリー：未定

マセラティ クアトロポルテ MY22モデル



- ・エンブレムロゴを刷新。ボンネットのエンブレムはホワイト/マセラティブルーの2色タイプに
- ・GT、モデナ、トロフェオの3種類のトリムを導入
- ・エンジンは、GTが350psのV6、モデナが430psのV6、トロフェオが580psのV8ツインターボを搭載

車両価格 (税込)	クアトロポルテ GT：	13,570,000円
	クアトロポルテ モデナ：	17,120,000円 (RWD)/18,120,000円 (AWD)
	クアトロポルテ トロフェオ：	23,500,000円

特別仕様車 受注開始：2021年10月28日 / デリバリー：未定

BMW X7 Edition in Frozen Black Metallic



- ・48Vマイルドハイブリッドを搭載するBMW X7 xDrive40d M Sportをベースにした特別限定車
- ・BMW オンライン・ストアのみで受注。限定40台
- ・内外装を漆黒で統一した精悍なスタイルと、BMW Individualの高品質な専用装備を採用

車両価格 (税込)	BMW X7 Edition in Frozen Black Metallic：	14,660,000円
--------------	--	-------------

ENVIRONMENT

フライングスパー ハイブリッドが 再生可能エネルギーでアイスランドを横断



ベントレー モーターズはこのほど、再生可能エネルギーを使用するエンジニアリング プロトタイプのフライングスパー ハイブリッドでアイスランドを横断するドラマチックなテストを完了しました。アズールパープルのフライングスパー ハイブリッドが使用したのは、第2世代のバイオ燃料とアイスランドの地熱発電所で発電された電気を組み合わせた再生可能エネルギーのみ。733kmを走破してアイスランドを一気に横断しました。

今回のテスト走行は、フライングスパー ハイブリッドのグランドツーリング性能と、ガソリンの代わりにそのまま使用できるバイオ燃料の進化を証明するために行われました。この燃料は、通常のガソリンと同様にEN228という欧州の規格に準拠したもので、100%バイオマス（廃棄される藁）から作られたものです。また、アイスランド国内の

電気は、水力75%、地熱25%で発電されているため、フライングスパー ハイブリッドのEモーターの電力も100%再生可能エネルギーで充電されたものでした。

このテスト走行は、アイスランドのギルヴァドッティル観光・産業・イノベーション大臣（写真右下）が視察に訪れるなど注目を集めました。テスト走行の結果を受け、ギルヴァドッティル大臣は「この車が再生可能電力と再生可能燃料を使用して733kmも走行したことは素晴らしいことです。滝や火山を見ながら地方を走ると、自然から直接エネルギーが生み出されていることがよくわかります。アイスランドは環境問題の解決に貢献したいと考えており、他国が我が国の知識や再生可能資源を利用する手助けをしたいと思っています」などとコメントしています。

ベントレー モーターズのマティアス・ラーベ取締役（エンジニアリング担当）は、「今回の挑戦によってハイブリッドの真の利点を証明することができました。革新的な第二世代バイオ燃料の使用により、CO2排出量を大幅に削減できるため、まさに最高の組み合わせといえます。最終的にお客様にお届けすることを目指し、今後も開発プロセスの一環としてこういった燃料の研究を続けていきます」などと話しています。



フォート ローダーデールで マリナーの新作を公開

ベントレー モーターズはこのほど、米国・フロリダ州で開催されたフォート ローダーデール ボートショーで、米国のお客様向けにビスポーク コレクションの新作を発表しました。米国ではご自分だけのベントレーを求める声が高まっており、米国のリテーラーはクルー本社のマリナーと密接に協力することで、お客様のための特注のグランドツアラーを製造してきました。

このほど発表された新作のテーマは、右の3点です。

- 1 フォートローダーデールで展示したマリナー ノーティシス コレクションには、ヨットをテーマとした4台のコンチネンタルGT V8 コンバーチブルが含まれます。
- 2 マリナー スカイライン コレクションは、マンハッタンの象徴的なスカイラインをテーマとしており、マリナー初の現行モデル全車種に対応するコレクションです。
- 3 マリナー マイアミ コレクションは、活気に満ちたマイアミのアートやカラフルなライフガード ステーション、アールデコ様式に着想を得た、6台の大胆なベントレーが特徴。

マリナー ノーティシス コレクション



フォート ローダーデールを拠点とするベントレーのリテーラーからの要望を受けて作られたコレクションです。エーゲ海をイメージしたブルーとゴーストホワイトでペイントされた4台のコンチネンタルGT V8 コンバーチブルで構成されています。このボディカラーはマリナーのビスポーク ペイントです。エクステリアには、スタイリング スペシフィケーションと22インチ アロイホイールが装備されています。インテリアはブルーネル、リネン、ポートランドの3色のレザーを特注のカラーズブリットで組み合わせました。フェイス パネルとドア ウェストレール パネルには、ピアノ仕上げのリネンのパネルを採用。シートにはブルーネルとリネンのステッチが施されています。また、センターコンソールのオープンボア シェブロン ライト パネルは、ヨットからインスピレーションを得たデザインとなっています。



マリナー スカイライン コレクション



フライングスパー、コンチネンタルGTコンバーチブル、ベンティガが含まれる、マリナー初の全モデルを含むコレクションで、ベントレーマンハッタンとの共同考案で生まれました。このコレクションのすべての車両は、最新のロボット技術を交えつつ、手作業のスプレー塗装の専門技術を活用して仕上げたダークブラックのオニキスで塗装されています。ブラックライン スペシフィケーションにより、エクステリアのクロムパーツはすべてグロスブラックに置き換えられ、パワフルでモダンな外観が与えられています。カーボンのスタイリング スペシフィケーションと22インチ アロイホイールも採用されています。

マリナーのビスポークインテリアは、随所にシルバーのアクセントを用いています。ダッシュボードとドア ウェストレールにはペイント仕上げのパネルを使用。シート中央にはシルバーのコントラストステッチを用いたマンハッタンのスカイラインの刺繍が施されており、同じモチーフが助手席側フェイスパネルにも描かれています。



マリナー マイアミ コレクション



スタイリング スペシフィケーションのカーボンファイバー製スポイラーのエッジ部分にハイライトのピンストライプを備えたエクステリアのペイントが特徴です。ボディカラーはオレンジ、ブルー、ライムグリーンから選択でき、フライングスパー、コンチネンタルGT、ベンティガに対応しています。

例えばフライングスパーをマイアミ コレクション仕様にする、インテリアはボディカラーとマッチさせたデュオトーンのピアノパネルと、ボディ同色のクラインブルーのレザーがリアのドアポケットまで続いていきます。シートはコントラストステッチを施したビスポークのキルティング、ヘッドレストの「MULLINER」刺繍、クラインブルーのマイクローピングが施されています。



日本でのマリナーの特注車・限定車

ここでは米国向けの特注車・限定車をご紹介しましたが、こういったケースは日本でも可能です。今年4月には、コンチネンタルGTの日本市場のみ10台限定モデル「エクイノックス エディション by マリナー」を発売。過去にはリテーラーの皆様からの声を形にして日本限定12台の「コンチネンタルGT V8 S ムーンクラウド エディション」を発売したこともありました。お客様からのご要望や、リテーラーの皆様の独創的なアイデアがありましたら、ぜひベントレー モーターズ ジャパンにご相談ください。



PRODUCTS

動画「コンチネンタル ドリフト」で GT Speedのシャシー性能の高さを知る



ベントレー モーターズはこのほど、コンチネンタルGT Speedのシャシーの性能の高さを示す動画「コンチネンタル ドリフト」を公開しました。この動画は、シチリア島の旧NATO空軍基地で撮影されたもので、廃墟となった空港施設内をコンチネンタルGT Speedでドリフト走行を交えて疾走する様子を見ることができます。

全輪駆動のコンチネンタルGT Speedでドリフト走行を可能にしているのが、このモデルのためにチューニングされたダイナミックなシャシーと、リアにパワーの大半を送ることができるアクティブトルクスプリットです。また、さらに進化したコーナリングダイナミクスや一連の新システム（eLSD、4WS、新ESC）によって提供されるグリップ力により、どんなコーナーでもより高いレベルの精度で攻めることができます。

数々の賞を受賞している自動車映像作家や専門のドローンパイロット、確かな腕を持つカメラマンらが撮影しているだけあり、映像作品としても楽しめますが、コンチネンタルGT Speedの真の実力を確かめられる資料としても貴重です。ベントレー モーターズの公式YouTubeチャンネルで視聴可能なので、ご覧いただくことをおすすめします。

AWARDS

ベントレーの電気系エンジニアが 自動車業界を活気づけた女性30人に選出



ベントレー モーターズの電気系システムエンジニアのリンジー・タフさんが、オートモーティブ30%クラブにより「Inspiring Automotive Women（自動車業界を活気づけた女性）」の30人に選出されました。オートモーティブ30%クラブは、自動車業界で活躍する女性の才能を認知して応援するとともに、自動車業界の古い認識を改めることを目的として活動している団体。同賞はビジネスのあらゆる分野における努力や成果を評価しつつ、業界全体で女性の幅広い機会に光を当てるもので、今回で3年目となります。

タフさんは、2014年にベントレーに入社。それまでは水道関連業界で電気系エンジニアとして活躍していました。入社当初はメカトロニクスプロジェクトに従事し、その後はミルザンヌのシートやフライングBマスコットの機構、フライングスパーの後席の折りたたみ式ピクニックテーブルなどのプロジェクトなどに携わってきました。タフさんは4つの新しい電気制御ユニットを導入するなど、プロセスや設計を改善し、変革を推進する役割を担いました。現在は産休中ですが、2022年初頭に復帰予定で、次世代電動化モデルの開発に携わることになります。

ベントレー モーターズのカレン・ランゲ取締役（人事担当）は、「ベントレーはBeyond 100戦略の一環として、2025年までに管理職候補者の30%を多様な人材にする目標を掲げています。女性社員の知名度と評価を高めることは重要で、タフさんが評価されたことを嬉しく思います」などとコメントしています。

OPTION

ボディを保護する新オプション ペイント プロテクション フィルム



新しいメーカー オプションとして、お客様の車両のボディを保護するペイント プロテクション フィルムが登場しました。ベントレーの全モデルに対応しており、すでにカー コンフィギュレーターとBOOMにオプションとして追加されています。

ペイント プロテクション フィルムは、飛び石や擦り傷からボディのフロント部（ボンネット、フロントバンパー、左右フェンダー、左右ミラーカバー）を保護する役割を果たし、損傷したフィルムは熱を加えることで自己修復します。車両の塗装と品質を維持するのに役立ち、メンテナンスと洗車が容易になるだけでなく、修理費用（および修理にかかる時間）の節約にもつながります。このフィルムは100,000km以上のテスト走行をクリアしており、ベントレーの高品質基準をパスして工場に取り付けられるオプションです。なお、3年間の保証もついています。

リテーラーの皆様にとっては新しい収益源となります。新車で購入の商談時には、フロアマットや車両カバーなど車両を保護するアイテムと一緒におすすめください。工場装着オプションのため、ご注文時にBOOMで選択する必要があります。また、お客様への周知のためソーシャルメディア用の素材もご用意しました。リテーラー マーケティング ニュースのウェブサイトからダウンロード可能です。併せてご活用ください。

COLLECTION

プレゼントには ベントレー コレクションを



ベントレー モーターズの公式アイテムを揃えたベントレー コレクションには、クリスマスプレゼントやお祝いのプレゼントにぴったりのアイテムがラインアップされています。リテーラー マーケティング ニュースのウェブサイトでは、そういったイベントの時期に利用可能な素材を提供しています。画像、ソーシャルメディア、eDMテンプレートなどを積極的に活用し、ブランド認知度の向上にも役立ててください。

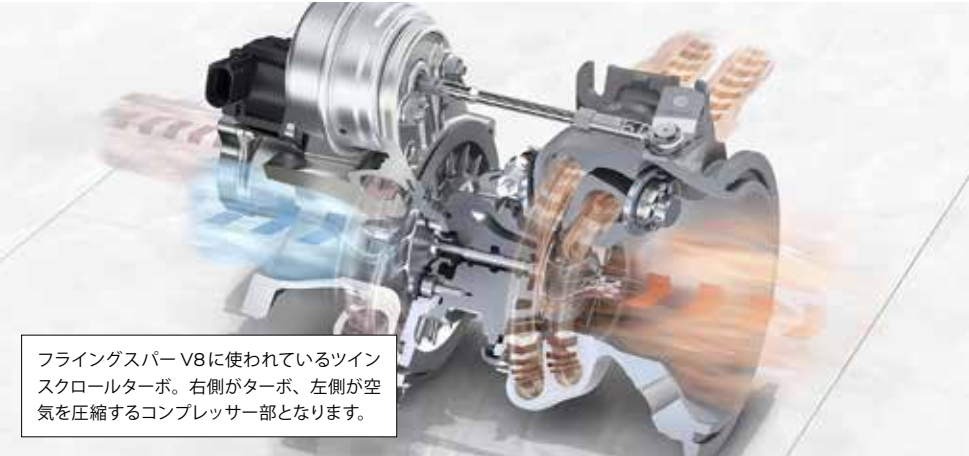
新商品の一例としては、スタイリッシュな財布やブリーフケース、限定版のかわいらしいティディベアなどがあります。男女兼用のアイウェアは、クラシックとコンテンポラリーの2つのスタイルで、モダンなアセテートフレームやカーボンファイバー製のフレームレスサングラスなどもあります。また、ゴルフ好きのお客様にはボールやグローブ、ティーなどもラインアップされています。そのほかにも、コレクター心をくすぐるモデルカーや、お子様向けの商品も多数ございます。売上向上にもつながりますので、特にクリスマス控えたこのタイミングに、積極的におすすめください。

「ツイン」と「ツインスクロール」とは ターボの種類と特徴

エンジンの出力をアップさせる技術がターボチャージャー（通称：ターボ）です。ところが、ひと言にターボと呼んでも、その内容は様々。
ツインターボやツインスクロールターボなど様々な方式が存在します。それぞれの違いと特徴を紹介します。

基本となるターボの仕組み

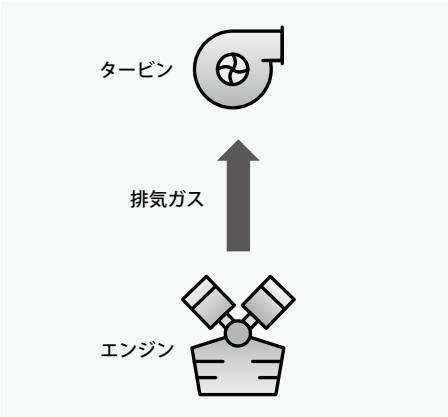
ターボは、エンジンの排気ガスの力でタービンを回転させ、その回転力を使って、エンジンの燃焼室に送る空気を圧縮します。圧縮された大量の空気をエンジンに送ることで、それに見合った大量の燃料を燃焼させることが可能となり、その結果として大パワーを生み出すことができます。排気ガスをタービンに導く通路は「スクロール」と呼びます。スクロールはタービンに向かうほど、通路が狭くなって、流速を高めます。同じように過給する技術にスーパーチャージャーが存在します。排気ガスの圧力を使うターボに対し、スーパーチャージャーはベルトなど機械的にエンジンの力を使って空気を圧縮するのが違いとなります。



様々なターボと特徴

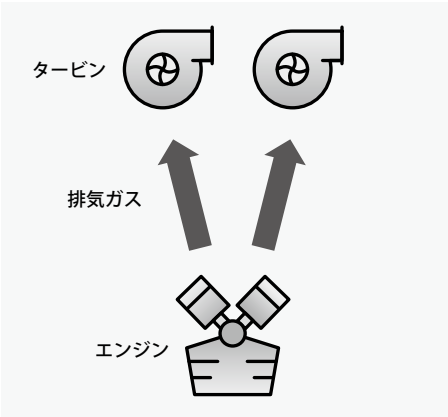
シングルターボ

ひとつのタービンで過給を行う方式。シンプルでターボの基本的なスタイルです。タービンが大きいほどパワーも大きくできますが、その場合、エンジンが低回転のときは排気ガスの勢いが足りずにタービンの回転を高める（＝パワーを出す）のに時間がかかります。



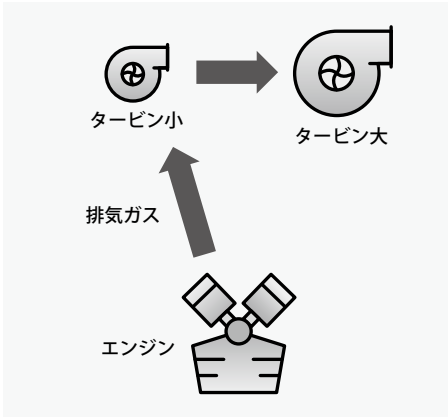
ツインターボ

2つのタービンを使う方式がツインターボです。小径なタービンでも2つあることで大パワーを生み出すことが可能となります。V8などのV型エンジンの場合、ツインターボを使うと、排気ガスのマニホールドの取り回しがシンプルになるというメリットもあります。



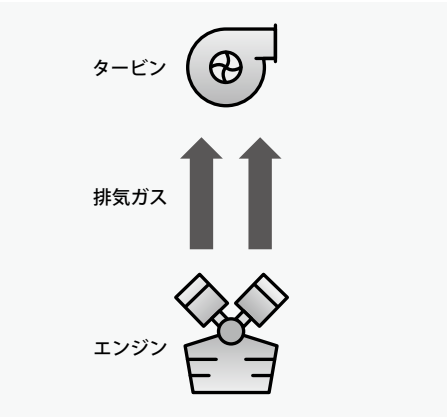
シーケンシャルツインターボ

2つのタービンを使い分けるのがシーケンシャルツインターボです。エンジンの回転数が低いときは小さいタービン、回転が高まったときは大きいタービン（もしくは小と大の2つのタービン）に切り替えます。低回転でレスポンスよく、高回転で大パワーを発生させます。



ツインスクロールターボ

1つのタービンに対して2つの排気ガスの通路（スクロール）を使う方式です。排気ガスを2系統に分けることで、エンジン各気筒の点火・燃焼タイミングの違いによる排気干渉を防ぎます。特別な機構なしに、効率を高めることができるため、近年利用が増えています。

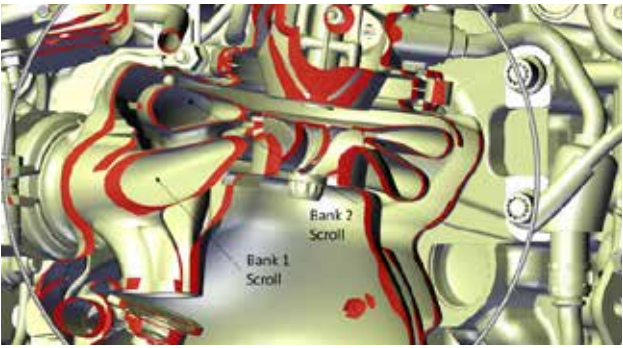


ツインスクロールターボの組み合わせ

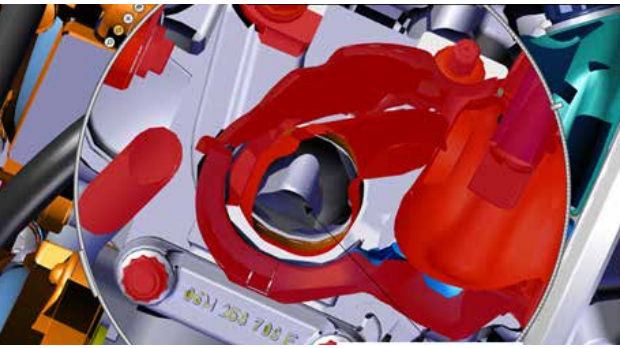
ターボは、タービンの数やスクロール（排気ガスの通路）の数によって、呼び方が異なります。ここで注意してほしいのは、タービンとスクロールは視点が異なるということ。そのため、シングルターボにツインスクロールを組み合わせる場合（ペンテイガ ハイブリッド）や、ツインターボに1つのスクロールを組み合わせる場合（フライングスパー ハイブリッド）も存在します。また、逆にツインターボに2つのスクロールを組み合わせる、ツインターボ・ツインスクロールというケース（V8やW12など）もあります。



フライングスパー V8のエンジン。V型のバンクの間に2つのタービンを配置しています。



ペンテイガ ハイブリッドは、タービンが1つに2つの通路のツインスクロール方式のターボ。



フライングスパー ハイブリッドは、タービンが2つあるが、通路はひとつだけという方式。

エンジン型式	タービン数	スクロール数	搭載車
V6 3.0TFSI (シングルターボ・ツインスクロール)	1	2	ペンテイガ PHEV
V6 2.9TFSI (ツインターボ・シングルスクロール)	2	1	フライングスパー PHEV
V8 4.0TFSI (ツインターボ・ツインスクロール)	2	2	フライングスパー V8、 ペンテイガ V8
W12 6.0TFSI (ツインターボ・ツインスクロール)	2	2	フライングスパー、 コンチネンタル GT Speed